



## 喫茶代への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



今年も夏が近づいてきました。外を歩いていると、コーヒーショップや喫茶店に立ち寄り、冷たいコーヒーなどを飲んでひと休みしたくなるのではないのでしょうか。そこで今月は、喫茶代への支出について、家計調査の結果から見てみましょう。

### 喫茶代への支出は10年前に比べ17.2%増加

1世帯当たりの喫茶代への年間支出金額を、価格の変化分を除いた指数<sup>注1)</sup>でみると、平成25年以降、増加傾向にあり、28年は10年前に比べ17.2%増となっています。また喫茶代への支出があった世帯の割合も29.5%と、2.7ポイント上昇しています（図1）。

注1)平成27年を100とした指数

### 週末の喫茶代は平日の1.7倍

次に、平成28年平均の1世帯当たりの喫茶代への支出金額を曜日別<sup>注2)</sup>にみると、時間に余裕のある人が多い土曜日と日曜日<sup>注3)</sup>の支出金額が、平日（月～金曜日）の約1.7倍となっています（図2）。

注2)1日当たりの金額

注3)日曜日には祝日及び年末年始を含む

### 支出金額1位は岐阜市、2位は名古屋市

最後に、喫茶代への年間支出金額（平成26～28年平均）を都道府県庁所在市別にみると、岐阜市が15,018円と最も多く、次いで名古屋市（12,945円）となっています。

岐阜県や愛知県では、人口当たりの喫茶店の数も多い<sup>注4)</sup>ことから、喫茶店を利用する習慣が根付いているためとみられます（図3）。

注4)「平成26年 経済センサス（基礎調査）」及び「人口推計（平成26年10月1日現在）」（総務省）より

図1 1世帯当たりの喫茶代の実質金額指数及び喫茶代への支出があった世帯割合の推移

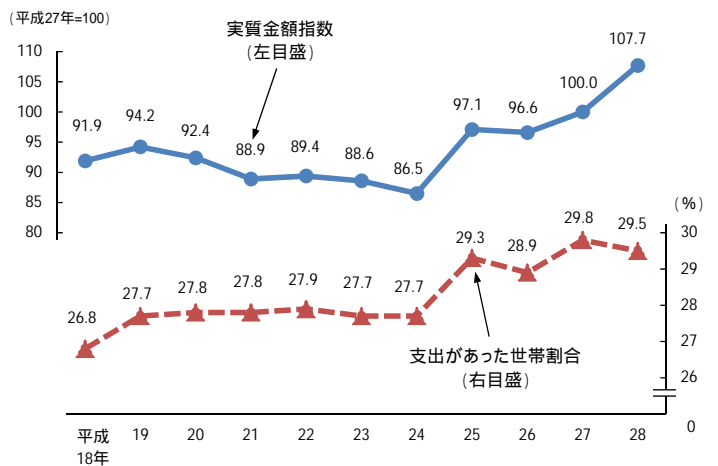


図2 喫茶代への曜日別支出金額（平成28年平均）

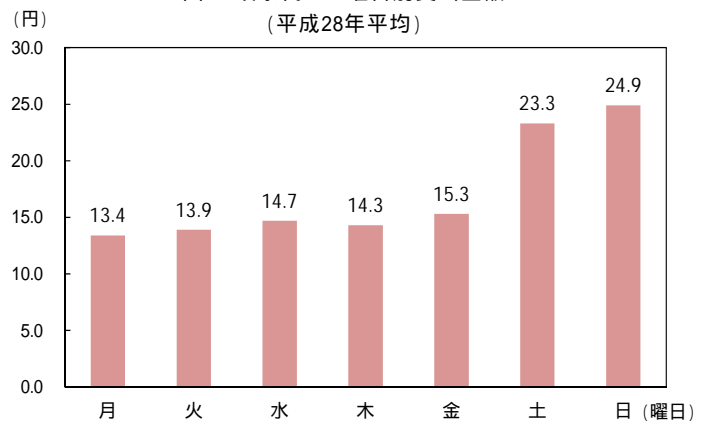


図3 喫茶代の1世帯当たり年間支出金額の都道府県庁所在市別ランキング（平成26～28年平均）

